

# 認定書

国住指第700号  
令和2年9月11日

シーシーアイ株式会社  
代表取締役社長 岡部 鉄也 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1114
2. 認定をした構造方法等の名称  
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／壁準耐火  
構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／壁準耐火構造／貫通部分

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ153mm以下)
	面積	0.0184m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		85.8%以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5～13.5mm
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) (ただし、軽量鉄骨下地材に限る) 厚さ 100mm以上

### 3. 主構成材料の仕様

主構成材料の仕様を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材	材料	材料	無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材	
		使用箇所	直管及び管継手の外層被覆材	
		処理方法	両側の壁際から300mm以上被覆	
	表面材	材料	仕様：あり又はなし 種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂	
			厚さ	70(±30) μm
	樹脂シート	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂 (表面材は①又は②) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂(表面材は①又は②)	
			組成(質量%)	①無機質混入オレフィン系樹脂 オレフィン系樹脂(ポリプロピレン等) 23(±7) 無機充てん材(硫酸バリウム等) 77(±7) ②無機質混入塩ビ系樹脂 ポリ塩化ビニル系樹脂 25(±7) 無機充てん材(硫酸バリウム等) 75(±7)
		厚さ	1(±0.2)mm	
		密度	2.3(±0.2)g/cm <sup>3</sup>	
		基材	材料	ウレタンフォーム
	厚さ		5(±1)mm	
	密度		50(±5)kg/m <sup>3</sup>	
貫通部材	保護テープ	中空側	材料	アルミニウム箔・ガラスクロステープ(アクリル粘着剤付)
			厚さ	アルミニウム箔 0.02(±0.002)mm ガラスクロス 0.11(±0.02)mm
			寸法	幅：50(±10)mm、 長さ：460mm以下(開口径に応じた長さとする)
		配管側	材料	オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着材付)
			厚さ	1(±0.3)mm
			寸法	幅：40(±5)mm 長さ：460mm以下(開口径に応じた長さとする)
	保持部材	材料	鋼板	
		厚さ	0.5(±0.1)mm	
		寸法	幅：34(±5)mm 長さ：472mm以下(開口径に応じた長さとする) [25×30mmの角穴を5mm間隔で抜く]	
	熱膨張材	本体	材料	熱膨張黒鉛・ほう酸混合物
			質量	76g/m
			組成(質量%)	熱膨張黒鉛 55(±5) ほう酸 45(±5)
		包装材	材料	アルミニウム箔・オレフィン系樹脂
			厚さ	54(±4) μm
			寸法	幅：30(±5)mm 長さ：490mm以下(開口径に応じた長さとする)
	支持部材	材料	鋼板	
		厚さ	0.8(±0.1)mm	
		寸法	幅：10(±5)mm、長さ：90(±15)mm	
数量		4個		

つづく

つづき

目 地 材	本 体	材 料	合成ゴム (EPDM) 系発泡体	
		寸 法	大きさ：15(壁厚方向)×35(隙間方向)(±5)mm、 長さ：480mm以下(開口径に応じた長さとする)	
	ジ ョ イ ン ト テ ー プ	材 料	オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着材付)	
		組 成 (質 量 %)	オレフィン樹脂(ポリエチレン等)	1.5(±1)
			ゴム系粘着材(ブチル系ゴム等)	98.5(±1)
厚 さ	1(±0.3)mm			
寸 法	幅：10(±5)mm、 長さ：480mm以下(開口寸法に応じた長さとする)			

表3 配管の仕様

項 目		仕 様		
配 管	直 管 ・ 横 枝 管	材 料	硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) (記号：VU)	
		外 径	φ114mm以下(記号：VU)	
		厚 さ	3.5mm以下(記号：VU)	
	管 継 手	材 料	仕様：あり又はなし 屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 (AS 38) (記号：VUDV)	
		受 口 外 径	φ124mm以下(記号：VUDV)	
		厚 さ	4.6mm以下(記号：VUDV)	

4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

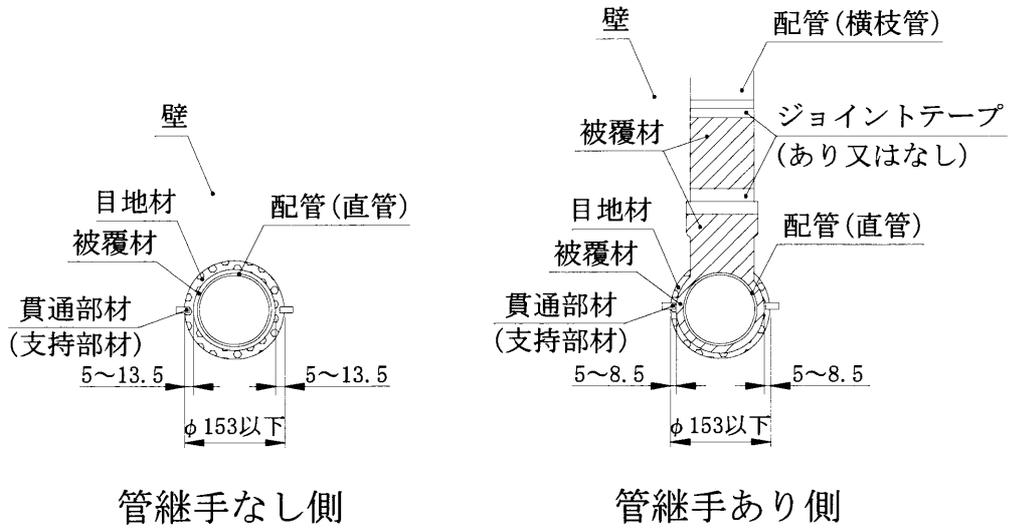
表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
ジ ョ イ ン ト テ ー プ	材 料	仕様：あり又はなし オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着材付)	
	組 成 (質 量 %)	オレフィン樹脂(ポリエチレン等)	1.5(±1)
		ゴム系粘着材(ブチル系ゴム等)	98.5(±1)
寸 法	厚さ：1(±0.3)mm、幅：40(±5)mm		

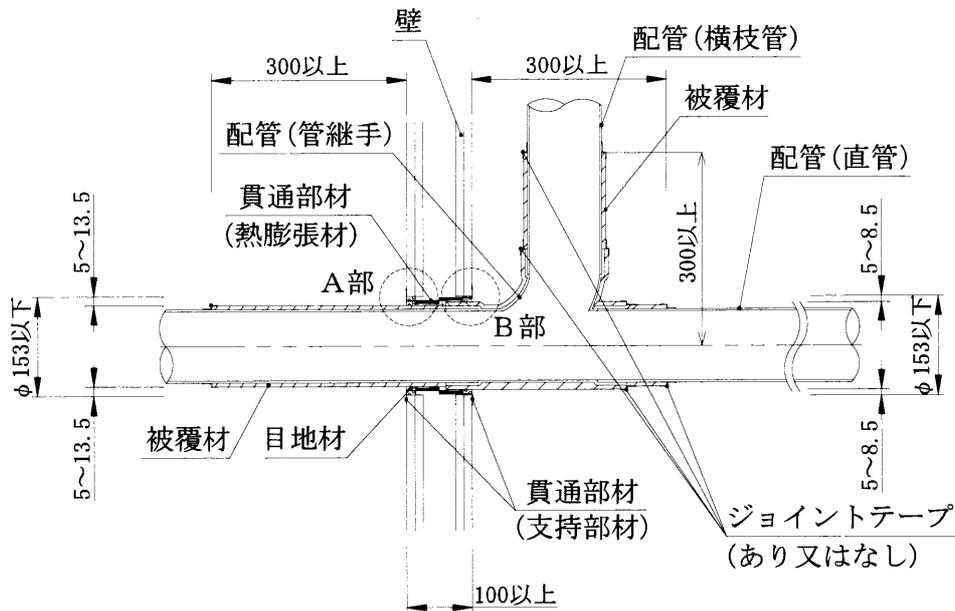
5. 構造説明図：

構造説明図を図1～図7に示す。

単位 mm



立面図



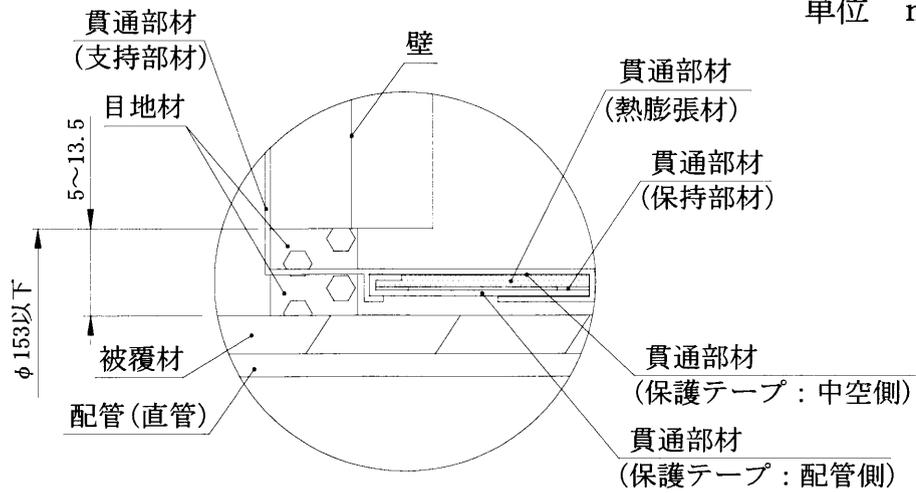
断面図

- 1) 中空壁等の場合
- 2) 管継手を用いる場合

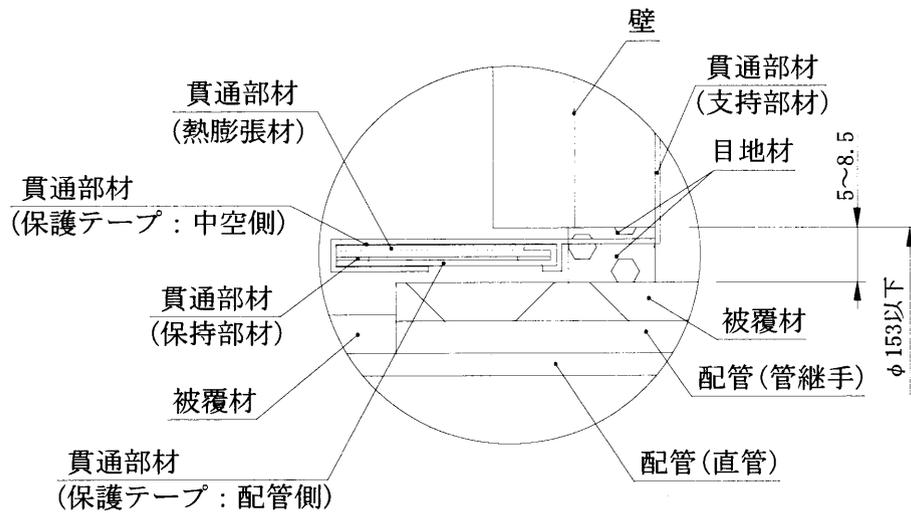
図1 構造説明図(施工図)



単位 mm

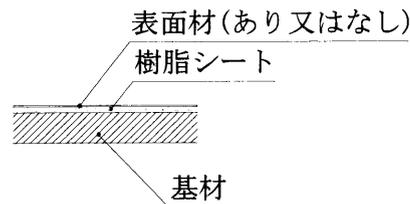


A部詳細図



B部詳細図

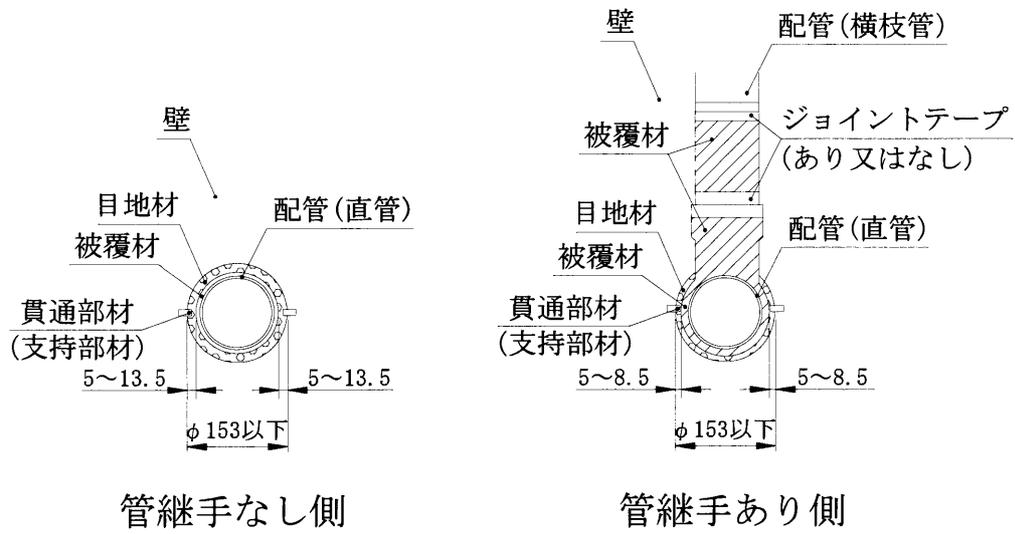
- 1) 中空壁等の場合
- 2) 管継手を用いない場合 (A部詳細図)
- 3) 管継手を用いる場合 (B部詳細図)



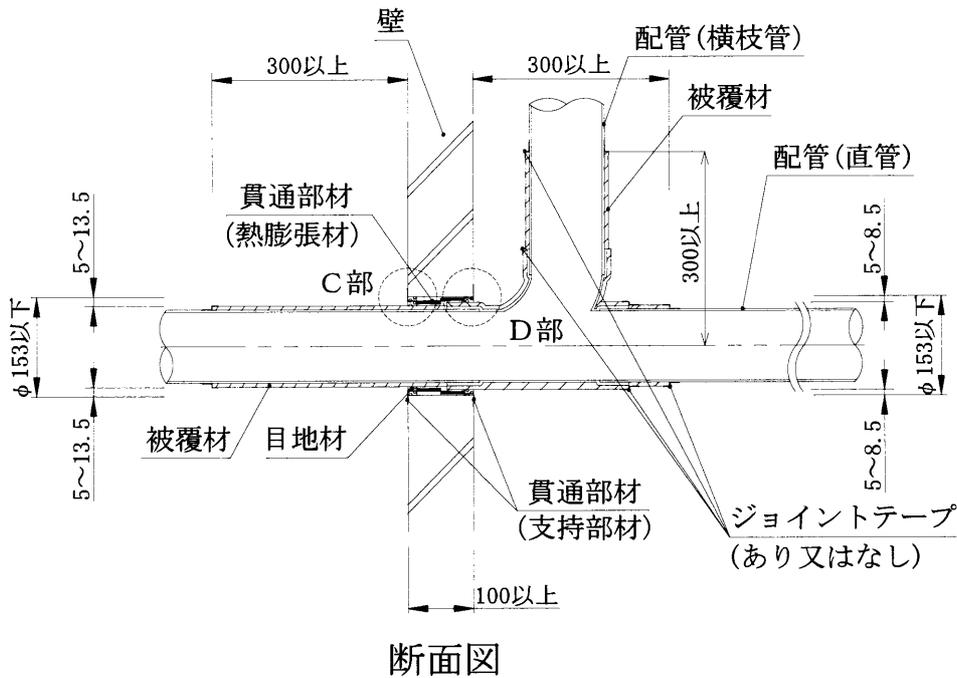
被覆材詳細図

図3 構造説明図(施工図)

単位 mm



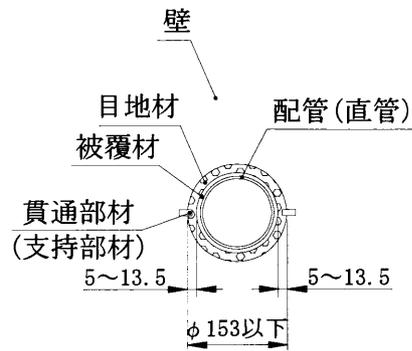
立面図



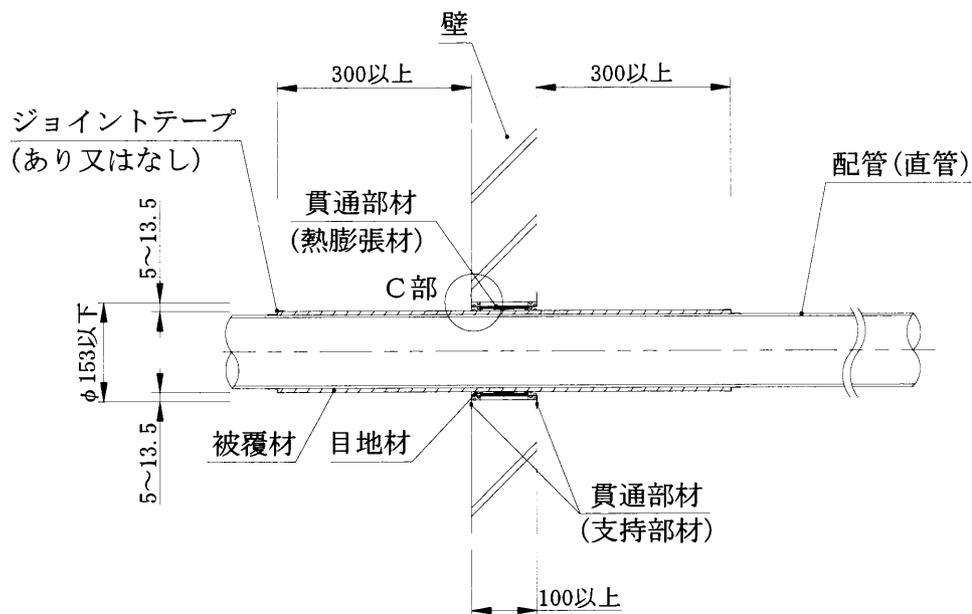
- 1) 中空壁等以外の場合
- 2) 管継手を用いる場合

図4 構造説明図(施工図)

単位 mm



立面図

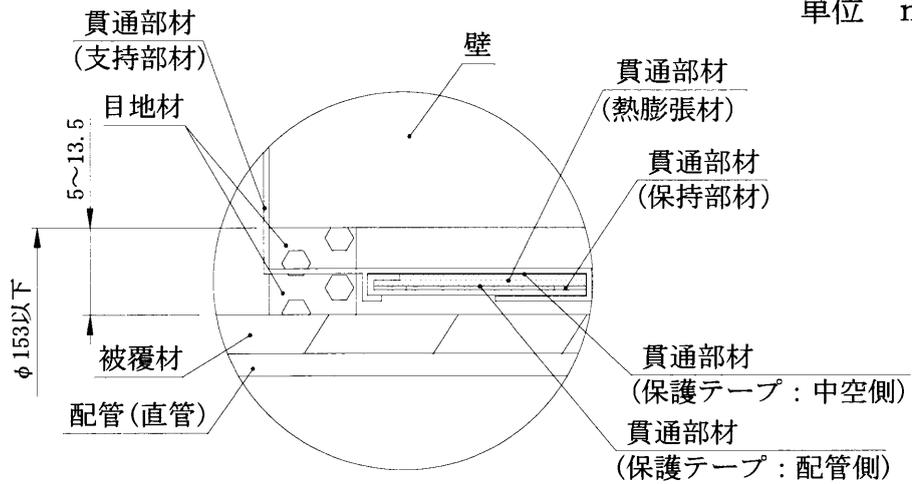


断面図

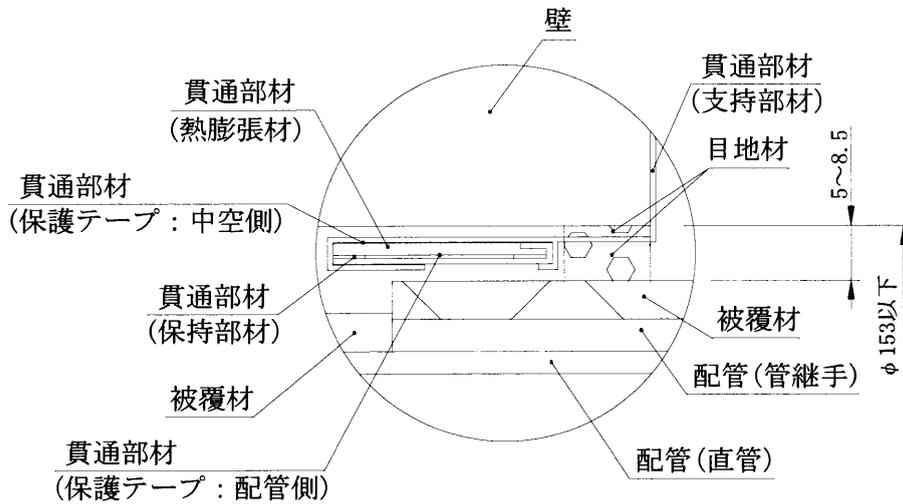
- 1) 中空壁等以外の場合
- 2) 管継手を用いない場合

図5 構造説明図(施工図)

単位 mm

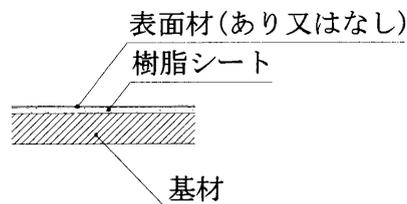


C部詳細図



D部詳細図

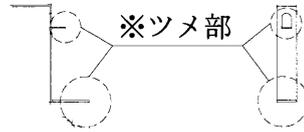
- 1) 中空壁等以外の場合
- 2) 管継手を用いない場合 (C部詳細図)
- 3) 管継手を用いる場合 (D部詳細図)



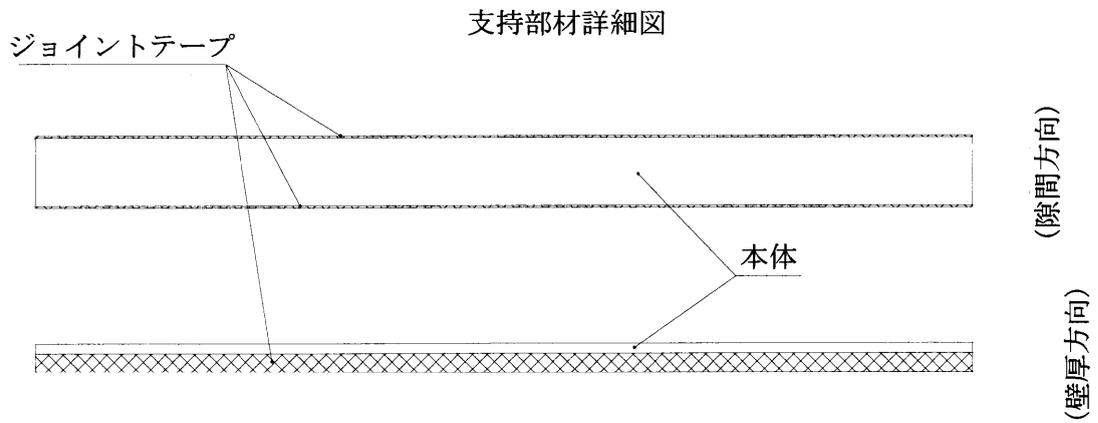
被覆材詳細図

図 6 構造説明図 (施工図)

単位 mm



※ツメ部を折り曲げてA～D部詳細図(図1～6)に示すように他の部分  
(熱膨張材・保護テープ・保持部材)を開口部内に固定する



目地材詳細図



保持部材詳細図

貫通部材を構成する部品の詳細図：支持部材及び保持部材

図7 構造説明図

## 6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

### (1) 直管に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。  
その際、配管の被覆材長さは、壁の左右面から300mm以上であることを確認する。
- ②被覆材の端部は、必要に応じて、ジョイントテープで1周以上覆う。
- ③被覆材付配管の外周部に沿って、貫通部材を巻き付け、環状に支持する。
- ④貫通部材を壁内部に納まるように挿入する。
- ⑤開口部と被覆材付配管の隙間に目地材を入れる。

### (2) 管継手に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。  
その際、被覆材付配管の被覆材長さは、壁から300mm以上であることを確認する。
- ②被覆材の端部は、必要に応じて、ジョイントテープで1周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付管継手に巻き付け、環状に支持する。
- ④被覆材付管継手を壁内部に挿入する。  
その際、被覆材付配管の被覆材長さは、壁から300mm以上であることを確認する。
- ⑤開口部と被覆材付管継手の隙間に目地材を入れる。